

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アンダンテ取手		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 12月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所が安心感のある場として認識され、抵抗なく通所できていること。	児童指導員が利用者個々の特性に合わせて支援を行うことで、来所して良かったという意識を持って帰宅することを意識している。その取り組みの結果として安心して来所しやすい居場所として機能するようにしている。	事業所で実施するイベントの回数や内容を見直し、利用者が参加しやすい工夫をすることで、さらに来所しやすい雰囲気醸成したい。その結果として効果的な支援が実施できるように努める。
2	支援内容を利用者たちが共感的に受け取ってくれていること。	活動に対して無理強いをしないなど、利用者の自発的な取り組みを重視していることで、利用者たちの心理的な圧迫をしないようにしている。	利用者個々の支援内容を共有することで、児童指導員による差をなくすように努めている。そのことを継続することで多くの児童指導員と接する機会を作り、人間関係や社会性での向上を目指す。
3	利用者の保護者に対する説明の場を設定し、支援内容を理解していただけるように説明に努めていること。	アセスメントやモニタリングをきちんと行い、事業所としての取り組みを説明し、理解を得るように努めている。	個人に対応するだけでなく保護者間の横のつながりを作るように交流の場を設定した。その活動を発展させて保護者にとっても価値ある場にしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流や、他事業所との連携としての活動の場を持つことに不足を感じる。	地域に連携するきっかけとなる場がなく、具体的な活動の呼びかけをしにくい環境にある。関係者との協議のきっかけが作れていない。	市の協議会や、他事業所や施設を訪問することで接点を広げていく。地域との連携ができていく中で、具体的な活動の提言ができてくるようにしたい。
2	職員研修を適切に実施することを考えると、職員の適性に合わせた学びの場としての外部での研修に参加することが少ないと感じる。	内部研修が様々に実施されているために、それ以上の研修を受けることに対して負担感が生まれている可能性がある。また、研修の機会を作る時間的な制約もある。	職員間で研修についての情報を共有するなどしていく。また、研修に参加するために事業所に不在となることのフォローをし合えるような、組織的・個人的に良い雰囲気の職場環境の醸成を目指す。
3	保護者が学ぶ機会が少ないと感じる。	他の利用者の保護者と接点を持ちたくないという方たちもいるので、保護者が集まったの活動が活性化していない。	保護者同士が横のつながりを持つことでどのような課題があるのかに気づいていくことで、学ぶ場があれば参加したいという保護者も増えてくると思う。ペアレントトレーニングというよりも、まずは仲間を作って話す場を作ることから始めたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アンダンテ取手

公表日 2026年月日

利用児童数 2025年12月4日

10人

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1		2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1		1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	2		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1		3		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	3		5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	4		4	親が勉強できる機会があると嬉しいです	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3		5			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	2		2	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	4		2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	2		6	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	3		3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1		2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	2			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	2	1		本人の体調による。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1			人間関係でつらそうです。前は楽しかったと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アンダンテ取手				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	多人数で過ごせるところと、少人数で会話ができるところをもうけている。	全員が一室に入ると狭いと感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	職員数を適切に配置するようにしている。	一人であるべく多くの利用者を見ているが、もう少し人数が欲しい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	利用者がわかりやすい場所にものが整理されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	こまめに清掃されている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	プライベートな話をしたりするときは、個別の部屋の利用を許可している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	自分の支援状況を見直したり、他の職員の考えを学んだりできる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		評価表を見る機会がない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	児発管と支援方法等について話し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	定期的に研修を行っている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	利用者個々の特性に合わせた計画を作成している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1	利用者と保護者のニーズをこまめに把握し、実現のための方法を模索している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	将来を見据えた計画を立てている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援目標を共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	標準化ツールよりも日常の観察に重点が置かれている。日々の活動を通して利用者の様子を把握している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	利用者と家族の思いを大切にしながら、利用者と周囲の環境にどのようにアプローチしていくかを示している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	子どもの特性を考えながら活動内容を思案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	利用者の良さや興味を深掘りできるようなプログラムを提案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	利用者の特性や気持ちを考えながら集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		非常勤職員への共有方法をより良くしたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	その日の様子を情報交換や確認をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	面談で本人や家族の意思を確認している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	利用者の出席について、確認や予定のすりあわせを綿密に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	以前の学校での様子を把握して支援に生かしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		児童発達支援センターの活動内容が不明。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	地域の催し物に参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		自立支援協議会の活動が不明
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	保護者と支援方針のすりあわせを行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	利用者が納得できるように、その場に応じた説明が行われている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者とコミュニケーションを取り、その思いを聞いている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	SNSを利用して情報発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	利用者の健康に関わる情報を職員全体で把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	家庭からの情報によっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		非常勤職員への周知に工夫が必要。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		利用者による連絡のみになっている。 非常勤職員への周知に工夫が必要。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	記載した例がない。		